

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和7年 2月のHP きごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1)  建設資材、高止まり 今年前半 工事停滞でも現燃料高
- (2)  電車遅延、5年で8割増 点検や救護、他路線から波及も
- (3)  大成建設 全物件ゼロエネ 太陽光や電力制御システム



(1) 建設資材、高止まり 今年前半

工事停滞でも現燃料高

- *鉄鋼や木材、セメントといった建設資材の価格が 2025 年前半も高止まりしそう。
- *原燃料相場や物流・人件費の上昇を理由に木材やセメントのメーカーは値上げ姿勢。
- *2025 年 1~3 月に上昇が見込まれるのが、国産針葉樹合板の流通価格。
- *主要な合板メーカーが 1 月出荷分から販売価格を 5~7%程度上げることを表明。
- *セメントの 1~3 月の流通価格は 10~12 月から横ばいといなる見通し。
- *メーカーは 4 月出荷分からの値上げを表明。
- *2024 年 10~12 月に下落した鉄鋼は、1~3 月は下げ基調が和らぐとみられます。

(2025 年 1 月 28 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 電車遅延、5年で8割増

点検や救護、他路線から波及も

- *首都圏と関西圏の鉄道主要 74 路線で、2024 年の遅延発生は 8050 件と 2019 年に比べ 3504 件増えました。
- *最も多いのは J R 東日本の東海道線で 527 件。2019 年と比べ 160%増。
- *関西では J R 西日本の神戸線が 380 件と 2019 年比で 465 増、京都線が 328 件と同 41%増。
- *遅延 8050 件のうち 4083 件が他の路線由来の遅延で、実に 51%。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

*遅延の内訳をみると、踏切内点検や線路内点検といった点検由来が特に増えています。

*線路内の立ち入りや乗客の救護、人身事故も多くあります。

*混雑由来の遅延は減っています。

☆遅延の定義は？

*国土交通省では、運休や30分以上の遅れを輸送障害と定義。

*鉄道各社が公表する遅延情報は基準がまちまち。

☆混雑は減っている？

*2023年の主要区間の平均混雑率は東京圏が136%、大阪圏が115%。

*2019年は東京圏163%、大阪圏126%。

(2025年1月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) 大成建設 全物件ゼロエネ

太陽光や電力制御システム

引き渡し後も運用助言 2029年までに

*大成建設は2029年までに、設計から工事まで手掛ける新築ビルの全てを環境に配慮した「ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）」にします。

*電力消費量やビルに付けた太陽光パネルでの発電量を管理し、ビル完成後にさらなる省エネを提案します。

*ZEB：一般的なビルよりも消費電力を5割以上減らし、残る消費電力を太陽光発電で賄います。

*省エネと再生可能エネルギー発電で化石燃料由来の電力消費を差し引きゼロにする仕組み。

*国内の二酸化炭素（CO₂）排出量のうち建築物は3割を占めます。

*2023年度のZEBなどの登録件数は約850件と前年度比で4割増加。

*鹿島や大林組もCO₂排出量の見積もりツールを開発。

*竹中工務店や清水建設は建築設計の初期段階で、ZEBに必要な環境性能とデザインを同時に設計できるようにしました。

(2025年1月30日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

